

第161回 日商簿記検定試験 1級 一 会計学一

解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保证するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 語句補充問題

1. その他有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益などは、連結貸借対照表ではその他の包括利益累計額の区分に掲記されるが、個別財務諸表においては（ア **評価・換算差額等**）の区分に掲記される。
2. 前期に計上した時価による評価損益の戻入れに関しては、当期に戻入れを行う洗替法と、当期に戻入れを行わない（イ **切放**）法とがある。
3. 有価証券のような金融商品は、売買契約日に取引を記録するのが原則である。これを約定日基準という。ただし、買手は約定日から受渡日までの時価の変動のみを認識し、また売手は売却損益だけを約定日に認識し、有価証券が移転したときに受渡しを記録する（ウ **修正受渡日**）基準の適用も認められている。
4. 棚卸資産の貸借対照表価額の算定方法のうち、異なる品目の資産を値入率等の類似性に従って適当なグループにまとめ、1グループに属する期末商品の売価合計に原価率を適用して期末棚卸品の価額を算定する方法を（エ **売価還元**）法という。
5. キャッシュ・フロー計算書における「営業活動によるキャッシュ・フロー」の表示方法のうち、主な取引ごとにキャッシュ・フローを総額表示する方法を（オ **直接**）法という。

第2問 リース取引（貸手）

ファイナンス・リース取引の貸手の会計処理については、所有権移転か所有権移転外かの取引により資産について使用する勘定科目が異なり、所有権移転ファイナンス・リースの場合「リース債権」、所有権移転外ファイナンス・リースの場合には、「リース投資資産」として計上する。

<リース債権の回収スケジュール>

	期首リース債権	年額リース料：		期末リース債権
		元本回収額	受取利息	
			960,000円	
1年目	3,989,452円	<b>700,686円</b>	(※1) <b>259,314円</b>	(※2) 3,288,766円
2年目	3,288,766円	746,230円	213,770円	2,542,536円
3年目	2,542,536円	794,735円	165,265円	1,747,801円
4年目	1,747,801円	846,393円	<b>113,607円</b>	901,408円
5年目	901,408円	901,408円	58,592円	0円
合計	—	3,989,452円	810,548円	—

※1 3,989,452円(1年目期首リース債権)×6.5%(利率)≒259,314円(以下同様)

※2 3,989,452円(1年目期首リース債権)－700,686円(1年目元本回収額)＝3,288,766円(以下同様)

<各方法による仕訳>

1. リース料受領時に売上高と売上原価を計上する方法

- (1) リース契約締結時の会計処理

(借) リース債権	3,989,452	(貸) 買掛金	3,989,452
-----------	-----------	---------	-----------

※ 取得原価

- (2) 初回のリース料受領時の会計処理

(借) 当座預金	960,000	(貸) 売上高	960,000
(借) 売上原価	<b>700,686</b>	(貸) リース債権	700,686

※ 売上原価：1年目のリース債権元本回収額（問1の解答）

2. 売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法

(1) リース契約締結時の会計処理

(借) リース債権	3,989,452	(貸) 買掛金	3,989,452
-----------	-----------	---------	-----------

※ 取得原価

(2) 初回のリース料受領時の会計処理

(借) 当座預金	960,000	(貸) リース債権	700,686
		(〃) 受取利息	259,314

※1 リース債権：1年目のリース債権元本回収額

※2 受取利息：1年目の受取利息 (問2の解答)

(3) 4回目のリース料受領時の会計処理

(借) 当座預金	960,000	(貸) リース債権	846,393
		(〃) 受取利息	113,607

※1 リース債権：4年目のリース債権元本回収額

※2 受取利息：4年目の受取利息 (問4の解答)

3. リース取引開始時に売上高と売上原価を計上する方法

(1) リース契約締結時の会計処理

(借) リース債権	4,800,000	(貸) 売上高	4,800,000
(〃) 売上原価	3,989,452	(〃) 買掛金	3,989,452

※1 リース債権：960,000円(年額リース料)×5年(リース期間)=4,800,000円

※2 売上原価：取得原価

(2) 初回のリース料受領時の会計処理

(借) 当座預金	960,000	(貸) リース債権	960,000
----------	---------	-----------	---------

※ リース料 (問3の解答)

(3) 決算時 (参考)

利息相当総額から当期末までに認識すべき額を除いた金額を「繰延リース利益」として繰り延べる。なお、「繰延リース利益」は、「リース債権」から控除して表示する。

(借) 繰延リース利益繰入	551,234	(貸) 繰延リース利益	551,234
---------------	---------	-------------	---------

※ {4,800,000円(4(1)※1)－960,000円(4(2))}

－ {3,989,452円(4(1)※2)－700,686円(1年目のリース債権元本回収額)} =551,234円

⇒ 2年目～5年目の利息の合計金額と同じになる

第3問 在外子会社

問1の解答

1. S社の円貨財務諸表

(1) 損益計算書

損益計算書

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
売上原価	480,000	AR114	54,720,000	諸収益	550,000	AR114	62,700,000
減価償却費	8,000	AR114	912,000	P社向売上	100,000	HR111	11,100,000
諸費用	140,000	AR114	15,960,000	為替差損益		貸借差額	<sup>(4)</sup> 300,000
当期純利益	22,000	AR114	<sup>(1)</sup> 2,508,000				
	650,000		74,100,000		650,000		74,100,000

(2) 株主資本等変動計算書(利益剰余金)

株主資本等変動計算書(利益剰余金)

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
剰余金の配当	5,000	HR112	<sup>(2)</sup> 560,000	当期首残高	10,000	HR110	1,100,000
当期末残高	27,000	貸借差額	<sup>(3)</sup> 3,048,000	当期純利益	22,000	PLより	2,508,000
	32,000		3,608,000		32,000		3,608,000

(3) 貸借対照表

貸借対照表

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
諸資産	125,000	CR116	14,500,000	諸負債	10,000	CR116	1,160,000
備品	80,000	CR116	9,280,000	資本金	200,000	HR110	22,000,000
減価償却累計額	△8,000	CR116	△ 928,000	利益剰余金	27,000	株変より	3,048,000
土地	40,000	CR116	4,640,000	為替換算調整勘定		貸借差額	<sup>(5)</sup> 1,284,000
	237,000		27,492,000		237,000		27,492,000

問2の解答

1. タイムテーブル

	《HR@110円》 X1年12月31日	《AR@114円》	《CR@116円》 X2年12月31日
資本金	22,000,000円(\$200,000)	22,000ドル×AR@114円 22,000,000円(\$200,000)	22,000,000円(\$200,000)
利益剰余金	1,100,000円(\$10,000)	利益 +2,508,000円(\$22,000) △ 560,000円(\$5,000)	3,048,000円(\$27,000)
評価差額	770,000円(\$7,000)	5,000ドル×HR@112円 +1,326,000円	770,000円(\$7,000) 1,326,000円(差額)
為替換算調整勘定	0円		1,326,000円
合計	23,870,000円(\$217,000)	CR換算	27,144,000円(\$234,000)
P社持分	14,322,000円(\$130,200)		
取得原価	15,400,000円(\$140,000)	980ドル×AR@114円 △111,720円(\$980)	966,280円(\$8,820)
のれん(円貨)	1,078,000円(\$9,800)		1,023,120円(\$8,820)
のれん(外貨)	1,078,000円(\$9,800)	+56,840円	56,840円
のれんの調整	0円		

2. 資産・負債の時価評価(単位:ドル)

(借) 土地	10,000	(貸) 繰延税金負債	3,000
		(〃) 評価差額	7,000

※1 土地: 50,000ドル(支配獲得時の土地の時価) - 40,000ドル(土地の簿価) = 10,000ドル

※2 繰延税金負債: 10,000ドル(※1) × 30%(実効税率) = 3,000ドル

※3 評価差額: 10,000ドル(※1) - 3,000ドル(※2) = 7,000ドル

3. 評価差額計上後のS社円貨財務諸表

(1) 損益計算書

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
売上原価	480,000	AR114	54,720,000	諸収益	550,000	AR114	62,700,000
減価償却費	8,000	AR114	912,000	P社向売上	100,000	HR111	11,100,000
諸費用	140,000	AR114	15,960,000	為替差損益		貸借差額	300,000
当期純利益	22,000	AR114	2,508,000				
	650,000		74,100,000		650,000		74,100,000

(2) 株主資本等変動計算書(利益剰余金)

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
剰余金の配当	5,000	HR112	560,000	当期首残高	10,000	HR110	1,100,000
当期末残高	27,000	貸借差額	3,048,000	当期純利益	22,000	PLより	2,508,000
	32,000		3,608,000		32,000		3,608,000

(3) 貸借対照表

貸借対照表

借方	ドル	レート	円	貸方	ドル	レート	円
諸資産	125,000	CR116	14,500,000	諸負債	10,000	CR116	1,160,000
備品	80,000	CR116	9,280,000	繰延税金負債	3,000	CR116	348,000
減価償却累計額	△8,000	CR116	△ 928,000	資本金	200,000	HR110	22,000,000
土地	50,000	CR116	5,800,000	利益剰余金	27,000	株変より	3,048,000
			<b>追加</b>	評価差額	7,000	HR110	770,000
			<b>変化</b>	為替換算調整勘定		貸借差額	1,326,000
	247,000		28,652,000		247,000		28,652,000

4. 投資と資本の相殺 (単位：円)

(借) 資本金当期首残高	22,000,000	(貸) 関係会社株式	15,400,000
(〃) 利益剰余金当期首残高	1,100,000	(〃) 非支配株主持分当期首残高	9,548,000
(〃) 評価差額	770,000		
(〃) のれん	1,078,000		

※1 S社資本：22,000,000円(資本金当期首残高) + 1,100,000円(利益剰余金当期首残高) + 770,000円(評価差額)  
=23,870,000円

※2 非支配株主持分当期首残高：23,870,000円(※1) × 40%(非支配株主持分) = 9,548,000円

※3 のれん：140,000ドル(取得原価) × 110円(取得時の為替相場) - 23,870,000円(※1) × 60%(親会社持分)  
=1,078,000円

5. S社当期純利益の按分

(借) 非支配株主に帰属する当期純利益	1,003,200	(貸) 非支配株主持分当期変動額	1,003,200
---------------------	-----------	------------------	-----------

※ 2,508,000円(当期純利益の円換算額) × 40%(非支配株主持分) = 1,003,200円

6. S社配当金の修正

(借) 受取配当金	336,000	(貸) 剰余金の配当	560,000
(〃) 非支配株主持分当期変動額	224,000		

※1 剰余金の配当：剰余金の配当円換算額

※2 受取配当金：560,000円(※1) × 60%(親会社持分) = 336,000円

※3 非支配株主持分当期変動額：560,000円(※1) - 336,000円(※2) = 224,000円

7. のれんの償却

(借) のれん償却	111,720	(貸) のれん	111,720
-----------	---------	---------	---------

※1 のれん(外貨額)：1,078,000円(4※3) ÷ 110円(支配獲得時の為替相場) = 9,800ドル

※2 のれん償却：9,800ドル(※1) ÷ 10年(償却期間) × 114円(期中平均為替相場) = 111,720円

8. のれん以外の為替換算調整勘定を非支配株主持分への按分

(借) 為替換算調整勘定	530,400	(貸) 非支配株主持分当期変動額	530,400
--------------	---------	------------------	---------

※ 1,326,000円(上記1より、のれん以外の為替換算調整勘定) × 40%(非支配株主持分) = 530,400円

9. のれんの修正

(借) のれん	56,840	(貸) 為替換算調整勘定	56,840
---------	--------	--------------	--------

※ 56,840円(上記1より)

10. 商品売買

(1) 売上高と売上原価の相殺

(借) P社向売上	11,100,000	(貸) 売上原価	11,100,000
-----------	------------	----------	------------

※ 11,100,000円(上記3(1)P社向売上の換算額)

(2) 未実現利益の消去

(借) 売上原価	222,000	(貸) 商品	222,000
(〃) 繰延税金資産	66,600	(〃) 法人税等調整額	66,600
(〃) 非支配株主持分当期変動額	62,160	(〃) 非支配株主に帰属する当期純利益	62,160

※1 売上原価：10,000ドル(期末商品)×111円(取引時の為替相場)×0.25(利益付加率)÷1.25(1+0.25)

=222,000円

※2 繰延税金資産：222,000円(※1)×30%(実効税率)=66,600円

※3 非支配株主持分当期変動額：{222,000円(※1)−66,600円(※2)}×40%(非支配株主持分)=62,160円

11. 解答の金額

(1) のれんの金額

1,078,000円(上記4※3)−111,720円(上記7)+56,840円(上記9)=**1,023,120円**

(2) 非支配株主持分の金額

9,548,000円(上記4※2)+1,003,200円(上記5)−224,000円(上記6)+530,400円(上記8)

−62,160円(上記10(2)※3)=**10,795,440円**

(3) 為替換算調整勘定の金額

1,326,000円(上記3(3))−530,400円(上記8)+56,840円(上記9)=**852,440円**